

2年度 学校だより 7月号 6月30日発行

横浜市中区山元町3-152  
電話 641-4857



# やまもと

横浜市立山元小学校  
校長 石田 薫

自分を大切にできる子 共に生きる子 山元の子



## 現状維持は退化

校長 石田 薫

木々の緑が深まり、夏の気配を感じる季節となりました。地域の皆様、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

6月1日に教職員一同、待ちに待っていた子ども達が登校してきました。半分の人数ではありましたが、昇降口で子ども達を出迎えると、どの子も緊張した面持ちでした。保護者アンケートで毎回ご指摘がある挨拶について、半分くらいの子どものができなかったことに驚きました。その後教室を回りましたが、どのクラスもシーンと静まりかえっており、3か月のブランクは予想以上に大きいと感じました。しかし、児童が帰るころには「はやっ」「もう帰るの」という喧嘩が聞こえ、一日目にして少しではありましたが、子ども達本来の姿が垣間見えました。

さて、1か月の準備期間を経て、7月1日から本格的に学校生活が始まります。ウイルス対策とともに、熱中症対策もしてまいります。多くの場面で今まで以上に保護者の皆様にはご協力をいただいているところです。今後もよろしく願いいたします。

今回、様々な生活の変化を受け入れざるを得ない状況におかれましては、パナソニックの創始者である松下幸之助の言葉に『昨日の考えは、今日は一新されていなければならないし、今日のやり方は、明日にはもう一変していなければならない。』とあります。変化に対応できる柔軟性をもち、チャレンジし続ける姿勢を大切に考え、子ども達と一緒に成長していくことができるよう取り組んでいきたいと思っております。

今月もよろしく願いいたします。